

性別によるアンコンシャス・バイアスに関する学習教材（高校生向け）の活用事例

目標

アンコンシャス・バイアス（＝無意識の思い込み。以下、「アンコン」という。）への理解を深め、進路や職業選択においてアンコンによって可能性を狭めることなく、自身の思いを大切にし、なりたい自分を目指して行動できるようにする。

活用の流れ

	学習活動	指導上の留意点	資料・準備物等
導入	1 広告動画から、自分の中にあるアンコンについて考える。 2 学習課題を確認する。 性別によるアンコンが進路・職業選択に与える影響について考えよう。	・啓発資料は、自分らしい進路・職業選択ができるよう県内高校生のアイデアをもとに作成されたことを確認する。 ・アンコンは誰にでもあることや、それに気づくことで、自分の可能性が広がることを伝える。	・啓発資料(高) ・動画視聴機器(タブレット等)
展開	3 啓発資料の事例を読み、自分の中にあるアンコンについて考える。 ・自分のことを振り返る。 ・近くの人と意見を共有する。 4 アンコンが進路・職業選択に与える影響について考える。 (1)動画を視聴し、感じたことを啓発資料に記入し、近くの人と話し合う。 (2)啓発資料のデータから日本や栃木県の課題について把握し、よりよい社会にするには何が必要か考える。 (3)グループで話し合い、その後、全体で共有する。	・啓発資料の事例(身近なアンコン)を考えることをとおして、自分の中にあるアンコンについて内省を促す。 ・アンコンを「良い」「悪い」という視点で考えるものではないことを伝える。 ・互いに安心して話し合いができるよう、傾聴の姿勢を心掛けることを確認する。 ・資料からデータを読み取る際に、データを見る視点を示す。 ・データ等の客観的な根拠をもとに話し合いを行うよう伝える。	・啓発資料(高) ・啓発資料(高) ・タブレット等 ・啓発資料(高) ・タブレット等 ・啓発資料(高) ・モニター
振り返り	5 学習を振り返る	・「アンコンにとらわれることなく進路・職業選択において、自身の思いを大切にし、なりたい自分を目指して積極的に行動していく」ことの大切さを伝える。	・啓発資料(高)

活用場面例

【各教科等】

- ・公民科 A 公共の扉 (3) 公共的な空間における基本的原理
- ・家庭科 A 人の一生と家族・家庭及び福祉
- ・特別活動
- ホームルーム (1) ホームルームや学校における生活づくりへの参画
- ホームルーム (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ホームルーム (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
- ・総合的な探究の時間 職業や自己の進路に関する課題
- ・人権週間の活用資料として

など

【家庭等との連携】

- ・長期休業中の課題（インタビュー等）として
- ・学年保護者会及び個人懇談の啓発資料として

など